

4月3日 9:00 新規採用職員紹介 市長訓示

令和5年度新規採用職員辞令交付式にあたりご挨拶を申し上げます。

始めに、山田能新議長ならびに神田全記副議長、そして議員各位におかれましては、何かとご多用の中をご出席いただき、新規採用職員に対してご激励をいただきますこと、誠にありがたく改めて厚くお礼を申し上げます。

それでは本日ここに、大きな希望と決意を胸に整列された12名の皆さんに申し上げます。

いま皆さんの胸の中には、「平戸市職員として地域のために尽くすぞ」という溢れんばかりの固い信念が漲っており、力強い頼もしさを感じます。

皆さんは本日から、地方公務員としての自覚と全体の奉仕者としての責任をしっかりと認識して、「市民の利益のために何をなすべきか」を肝に銘じながら、若者らしい迫りに満ちた前進を続け、一日も早く郷土の発展のための逞しい原動力となって頂きたいと思います。

すでにご承知の通り、わが国の人口減少はコロナ禍を通して益々加速され、現状においては都市や地方の垣根なく深刻な人手不足に悩まされています。こうした労働力資源を補う取り組みとしてAIなどデジタルトランスフォーメーションの幅広い活用や、外国人移入などの様々な提案がなされていますが、業務の中核の部分は、その現場で受け継がれてきた貴重な経験や豊富な情報源を司るヒューマンパワーで対応しなければならないのではないかと思います。

そうした意味において、本日から新たに仲間入りした新規採用職員は、私た

ち行政組織のみならず平戸市としての貴重な人材資源、財産として選ばれており、心から歓迎したいと思います。

さて先月は、WBCにおける日本代表チームの世界一奪還によって多くの国民が感動を共有できました。まさに栗山監督はじめ選手各位のご奮闘ご活躍に心からの拍手を送りたいと思います。その後の報道により、これまでの戦いぶりの舞台裏で繰り広げられた幾つもの物語にたくさん学ばされることありましたが、私は次の三点を挙げたいと思います。

まず一つ目は、世界を魅了した選手個々人の豊かな個性と圧倒的な技量です。これは代表選手がすでにプロ野球界の歴戦の勇士であることから言うまでもない事実ではありますが、その背後には桁外れの練習量と精神的な鍛練や集中力が容易に想像できます。昨今の社会風潮では、簡単に「個性の尊重」や承認欲求に裏付けられた自己中心的な考え方が目立っていますが、磨かれた個性や抜きんでた技術は、キャッチボールや素振り、ランニングなど基礎的基本的な練習が計り知れないほど蓄積された土台に立っていることを忘れてはなりません。何事にも基本に忠実で邪心のない心構えで向き合う姿勢が求められます。そういった意味で、私たち行政職員は、法令をしっかりと理解し、他者に対する説明力を高めるなど、まずは基本的なことを身に着ける努力をすること、また組織にあっては確固たる相互信頼を前提として堅実に業務と向き合うことが重要であることを確認させられました。

二つ目は、監督やコーチ、そして選手相互のコミュニケーションのあり方に

学ばされました。この3年間を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症は、私たちの生活様式を一変させ、組織としてのチームワークにも影響をもたらしました。特に、個々人に課せられた行動制限は、職場内外のコミュニケーションの劣化を招き、職員相互の信頼と評価は、単なる肩書だけの一面的なものになってしまっていないか懸念されるところであります。そうしたことが遠因となって、昨年度はハラスメント事案も顕在化し、議会でも厳しく指摘を受けたところであります。まさに組織内においてコミュニケーションを円滑にかつ活発にすすめていくことは戦略づくりや実践力の源泉であると思います。これから予定されているそれぞれの歓迎会などで「侍ジャパン」が教えてくれた相互信頼に基づくコミュニケーション力を高め合ってほしいと思います。

最後に私が学ばされたことは、決勝戦に臨む日本代表チームのロッカールームで大谷翔平選手が発した言葉です。対戦するアメリカチームに居並ぶ煌びやかなスター選手たちに対して、「今日だけは憧れることをやめましょう！」という呼びかけは、敵対する相手に対して敬意を表しつつも、自らを委縮させない奮い立たせるメッセージです。言葉の選び方ひとつで、こんなにも感動的で誰も傷つかず、エネルギーを生み出すことができるのだと私は本当に感激しました。感情的な言葉を使って威圧的に表現したとしても相手の心が動くかどうかは別問題です。たとえ優しく簡便な言葉であってもジンワリと心に響き、仕事に向かう活力や原動力に変換するメッセージはいくつも存在します。そうした相手の立場になって共感できる言葉が発することは、特に大事なことだと学

ばされ、同時に深く感動しました。

他にも、世界一となった侍ジャパンの活躍に学び取ることは幾つもあったと思いますし、それぞれが受け取った感動的なシーンを様々な例え話に当てはめて、私たちの職場環境に役立ててまいりましょう。

ところで、景気の「気」は気持ちの「気」ということがよく言われます。本年5月には新型コロナウイルスも感染法上の5類に引き下げられますし、大企業各社もこれまでにない賃上げを実現するなど、令和5年度は国民全体の気持ちが高まってくる予感を感じています。まさに新年度のスタートラインに立った私たちは、ここに新しく加わった職員の皆さんの心意気と同じくして、フレッシュな躍動感を日々の実務に反映する決意を新たにしたいと思います。

そして新たに職員となられた皆さんは、これからの毎日を経験豊かな先輩の方々の厳しい指導を仰ぎながら、心を一つにして何事にも臆することなく全力を尽くして努力されることを強く要望します。

以上、新年度における職員の皆さんのさらなる活躍を期待して、年度当初の挨拶といたします。

令和5年4月3日

平戸市長 黒田成彦